

指定管理者評価シート

事業名	公園管理費	所管課(電話番号)	手稲区土木部維持管理課(681-4011)
-----	-------	-----------	-----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	①前田森林公園 ②山口緑地 ③星置公園 ④明日風公園	所在地	①手稲区手稲前田591外 ②手稲区手稲山口582外 ③手稲区星置2条1丁目 ④手稲区明日風2丁目
告示年月日	①昭和62年8月1日 ②平成11年3月31日 ③平成1年3月31日 ④平成22年3月31日	面積	①597,258㎡ ②444,280㎡ ③61,800㎡ ④47,569㎡
公園種別	①総合公園 ②都市緑地 ③地区公園 ④地区公園		
目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。		
事業概要	上記公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)		
主要施設	①カナル、壁泉、展望ラウンジ、野球場、球技場、パークゴルフ場他 ②パークゴルフ場(72ホール)、駐車場(381台、身障者7台)、クラブハウス、管理棟 ③テニスコート、野球場 ④テニスコート、パークゴルフ場、徒渉池		
2 指定管理者			
名称	公園緑化協会・ていねグリーンコンソーシアム((公財)札幌市公園緑化協会(代表者)、(株)スペース・デザイン工業、マルミプラス(株)、(株)横山造園)		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	公募 ----- 非公募の場合、その理由		
指定単位	施設数: 4 ----- 複数施設を一括指定の場合、その理由: ①公園管理事務所を有しない公園と有する公園をグループ化し、公園管理上の支障をなくす。②公園管理上の経費及び効率化(環境負荷の低減等)の面から、比較的近接している公園をグループ化した。		
業務の範囲	公園維持管理業務、有料公園施設(野球場、球技場、テニスコート、パークゴルフ場)運営(利用料金制度)、緑化普及啓発業務		
3 評価単位	施設数: 4 ----- 複数施設を一括評価の場合、その理由: 管理対象がすべて公園で、同一の管理事務所にて管理しており、別個の評価をする必要がないため。		

II 平成30年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>前田森林公園、山口緑地、星置公園、明日風公園においては、以下の基本方針に基づき管理運営にあたった。</p> <p>【1】平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。</p> <p>【2】関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映に努め、開かれた管理運営による、安全で安心、快適な利用環境を提供する。</p> <p>【3】資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。</p> <p>【4】コミュニティ活動の拠点の一つと位置付け、市民や関係諸機関との連携を強化し、資源の積極的な活用を図り、活動の場としての魅力を高める。</p> <p>【5】子どもをはじめとする来園者が、豊かな自然にあふれ、自由な発想で遊ぶことのできる公園環境を提供する。</p> <p>【6】地域の健康づくり・運動拠点としての価値を向上させ、公園の利活用促進につなげる。</p> <p>【7】公園の特徴的な景観を重視した管理をし、地域の魅力としてアピールする。</p> <p>【8】地域の防災拠点として、災害に対する万全の備えを進め、また防犯の視点から日常の管理を強化する。</p>	<p>平成30年度は管理運営の基本方針を基に、施設利用者の満足度向上のため、アンケート調査や市民の意見要望を受け、札幌市の意見も仰ぎながら、各公園・施設の状態を確認し、適切な維持管理業務を進めることができた。前田森林公園では、地域コミュニティーやボランティアとの協働により、9回目を迎えたふじ祭りでは子ども向け縁日やコンサートなど、老若男女が楽しめるイベントへと成長し、過去最高の利用・売上があった。利用料金については、前田森林公園パークゴルフ場の若年層の利用が非常に好調で、前年より増収となり、適正な維持管理や広報において公園利用の拡充を図ることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>基本方針に基づき管理がなされた。利用者と収入が増加していることから、利用者の意見に耳を傾け、ニーズに答えるための工夫が効果を発揮していると思われるので、引き続き取り組みを継続すること。</p>	A	B	C	D				
A	B	C	D								

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

【平等利用に係る方針】

地方自治法第244条第2項、及び第3項を遵守し、年齢や障がい、性別、主義主張、思想信条、民族や言語、社会的地位や身分の違い、その他不当な理由によって平等利用が妨げられることのないよう、全スタッフに対する教育を徹底する。特に配慮が必要な障がい者に対しては、障害者差別解消法の趣旨に則り、公園施設において不当な差別的取扱いをしないよう、また、施設等の利用の際の要望・申し出に進展で対応し、真摯な対応で「困りごと」の解消に努める。

【平等利用の取組状況と実績】

公園、有料施設の利用に対し、担当職員採用時の教育の徹底、研修会の参加、緊急時の避難誘導訓練、指導を行った。

公園案内看板のレイアウト変更・増設、注意指導(有料施設の不正使用、バーベキュー広場の場所取り行為、指定場所以外での火気使用行為、犬の放し飼いや糞の不始末、ゴミの不法投棄、ボール遊びマナー、夜間の公園利用等)の取組みを行った。特に公園利用者からの苦情で多い犬の放し飼いなどについては、地区公園を含め巡回を強化し、飼い主への注意喚起を行った。

また、季節の見どころ、イベント情報、施設管理情報を公園ホームページとSNS(Twitter)に掲載したほか、ネット利用者以外への対応として園内掲示板、地域の施設に掲示するなど、広く情報発信に努めた。

スタッフの教育訓練として接遇研修、救命処置研修などを実施し、意識・技術の向上を図り、車椅子の貸し出しについても親切丁寧な案内や補助に努めるとともに外国の方へも適切な案内ができ、リピーター確保へと繋がった。スタッフはバリアフリーの観点で園内をチェックしたほか、障がい者でも閲覧可能なホームページのデザインや内容検討など、不便の解消・改善に向けた管理運営を行った。平成30年度のウェブアクセシビリティ評価はレベルAA準拠となり全ての基準を満たすことができた。また、公園ホームページやTwitterで情報を知り来園する方が増加していることから、継続して平等な情報発信に努め、それにより公園の存在を知らない若年層の来園を促すことができた。

目的に合った研修を行うことで、適切に取り組んでいたと評価する。また、様々な利用者のことをよく考え、管理運営に努めていたと評価する。さらに、有効と考えられるツールの積極的な利用により、来園のきっかけづくりができており、その成果が出ていることを評価する。

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

HES(北海道環境マネジメントシステムスタンダード)の認証を受けて構築しているEMSに基づき、地球温暖化対策環境配慮の推進に努めた。

【地球温暖化対策】

CO₂発生抑制として、公園維持管理に伴う光熱水の節約に努めた。電気使用量削減については、壁泉カナルポンプ施設やサンクガーデン噴水池のタイマー調整による施設運転の合理化、管理事務所内照明の一部をLED照明へ交換するなどした。

【環境配慮の推進】

公園の維持管理に伴う環境負荷の軽減として、化学農薬を極力使わない植物管理、一般ごみの削減、急激な環境負荷の少ない緩効性肥料の使用、再生紙の使用など、環境に配慮した運営を行った。また、CO₂吸収・蓄積に寄与する取組みとして、園内植物残渣のリサイクルに努めた。

電気使用量はポンプ設備の調整により運転の効率化を図るとともに、日頃の節電の心掛けや呼びかけにより、前年比95.1%と4.9%の削減を実現できた。水道使用量は施設老朽化による漏水の早期発見に努め、前年比15%減となった。しかしながら電気・水道使用量については、台風・地震の被害後に施設を閉鎖したことや、以降の来園者の減少もあり、他要因の影響も大きいと考えるのが妥当である。農薬の使用については札幌市に報告の上、使用範囲を限定したスポット散布を実施した。病害の発生については早期発見に努め、必要最小限の農薬使用、環境負荷軽減ができた。一般ごみは前年比1割削減、トイレトーパーは札幌市や道内市町村の古紙及び紙パックを原料に使用したものを導入し、維持管理経費と環境負荷について同時に削減することができた。植物残渣のリサイクルでは処理樹木をチップ化し、園内へ還元した。全体を通して、環境に配慮した運営ができた。

環境に配慮した活動に積極的に取り組んでおり、その成果を出していると評価できる。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼ 業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。
- ▼ 仕様書のとおり職員を配置するため、臨時職員(維持管理10名、受付2名、パークゴルフ場受付18名)の採用を行った。
- ▼ 当初の研修計画に基づき、職員研修(コンプライアンス研修、危機管理研修、管理運営事務研修等)を行った。

必要最小限の人数で効率的に管理・運営を行うことができた。研修については、必要資格の取得など、適宜実施できた。

適切な管理ができていたと評価できる。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼ スタッフの雇用開始時に、環境に関する知識と当協会の環境方針、環境目標に関する研修を実施した。
- ▼ 管理技術向上のため、安全作業手順、機械運転操作、園内車両走行、剪定実技など、公園維持管理安全作業に係る実地研修等を実施した。
- ▼ 安全管理向上のため、毎朝ブリーフィング時に他公園等の事故報告・苦情要望事項を共有し、無事故のための手順や問題解消のためのディスカッションを実施した。
- ▼ 普通救命講習、消防訓練を実施した。パークゴルフ場受付人員へは安全安心の確保及び高齢の利用者が多いため、再講習期限を待たず、毎年の普通救命講習を実施した。
- ▼ 公園満足度の向上のため、アンケート調査の結果をミーティングで報告して管理運営に反映し、公園案内等において改善を図った。
- ▼ 来園者対応向上のため、園内植物(スプリングエフェラル、サクラ、フジ等)の開花状況等を把握し、ホームページへ情報掲載するとともに、スムーズな案内ができるよう周知した。

公園維持管理作業による利用者への事故はなく、期間を終えることができた。転倒などを利用者の事故については、救急車の誘導など迅速に対応でき、お礼の言葉をいただけた。また、冬季の公園利用は積雪により園内状況が分かりにくいため、動線を考慮した案内看板を増設し、更に看板へ案内チラシ配付ボックスを設置し、管理事務所まで案内チラシを取りに来る手間を省くなどの工夫を行った結果、園内が分かりづらいなどの苦情がなく事業を終えることができた。

安全管理を徹底し、事故等の防止に努めている。また、アンケート調査等により利用者の声を聞き、その結果を反映すよう努めていたことを評価する。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

①前田森林公園

- ・管理事務所等機械警備業務
- ・昇降機点検業務
- ・管理事務所等消防設備点検業務
- ・自動ドア定期保守点検業務
- ・展望ラウンジ自動ドア保守点検
- ・床・硝子清掃業務
- ・前田森林公園他受水槽清掃業務
- ・灯油600L地下タンク漏洩検査業務
- ・前田森林公園他遊具保守点検業務
- ・前田森林公園除雪業務
- ・自家用電気工作物保安管理業務
- ・一般事業系廃棄物処理
- ・カン・ビン等処理業務
- ・産業廃棄物処理業務
- ・トイレ維持管理業務
- ・カラスの巣撤去及び子ガラスの保護業務
- ・(緊急復旧)前田森林公園(ポプラ並木)倒木処理業務

②山口緑地

- ・機械警備業務
- ・管理事務所等消防用設備点検業務
- ・自動ドア定期保守点検業務
- ・前田森林公園他遊具保守点検業務
- ・自家用電気工作物保安管理業務
- ・トイレ清掃業務
- ・トイレ維持管理業務
- ・産業廃棄物処理業務
- ・山口緑地東パークゴルフクラブハウス自動ドア装置保守点検業務
- ・前田森林公園他受水槽清掃等業務

③星置公園

- ・前田森林公園他遊具保守点検業務
- ・トイレ維持管理業務
- ・産業廃棄物処理業務

④明日風公園

- ・前田森林公園他遊具保守点検業務
- ・トイレ清掃業務
- ・トイレ維持管理業務
- ・産業廃棄物処理業務

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 2月18日	前田森林公園他3公園・緑地の運営に関する札幌市への報告、協議
<協議会メンバー> 札幌市手稲区土木部 事務係、公園緑化係 (公財)札幌市公園緑化協会、(株)スペースデザイン工業、マルミプラス(株)、(株)横山造園	

第三者への委託業務に関しては、全て札幌市内の企業に委託できた。

札幌市内の業者を活用していることは評価できる。

運営協議会のほか、日常的に札幌市と連絡を取り、場合によって指示を仰ぐ等、調整を図ることができた。

協議会の内容は、今後の事業運営の参考にしてほしい。今後とも、管理水準の向上のために、適切な時期に開催すること。

<p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼ 資金管理については、指定管理業務や自主事業等、公園ごとに区分しており、現金等の取扱いについては点検、調査を行っている。事務局経理事務担当者による現金出納簿の確認、月末締め現金出納簿と売上金口座入金状況の確認を随時行っている。</p> <p>▼ 団体の規定に基づき、現金や金券類、預金通帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施しているほか、公認会計士2名による外部監査を導入している。</p> <p>▼ 現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組みを行っている。</p>	<p>札幌市の検査・監査には適切に対応した。また、改善が必要な事項等については、各公園・施設のマネージャーが集まる営業会議で都度確認し、公園・施設でも周知徹底を図った。不正行為や事故発生未然防止のため、複数名による現金等の確認を徹底した。不正経理等の事故は発生していない。</p>	<p>適切に取り組んでいたと評価する。引き続き、改善が必要な事項については確認し、適正な管理を行うこと。</p>
<p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼ 要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、スタッフ研修を実施している。</p> <p>▼ 市民、公園利用者からの要望、苦情等を集計して札幌市に報告した。</p> <p>【苦情・要望等の件数】 前田森林公園 8件(うち、称賛4件) 山口緑地 1件 星置公園 1件(うち、称賛1件) 明日風公園 3件</p>	<p>施設に対する苦情等については、可能な限り即時対応し、改善を図ることができた。</p> <p>利用に関する苦情等は、看板の設置や増設、案内看板へのチラシ設置等により、利便性の向上や施設案内の周知ができた。適切な接遇等対応の結果、森林公園では半数が称賛となるなど、公園維持管理の品質向上が図れた。</p>	<p>様々な要望に対し、迅速かつ適切な対応をしていたと評価する。</p>
<p>▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)</p> <p>▼ 主な記録は以下の通り 巡視日報、EMS環境測定記録、EMS教育訓練記録、受水槽点検記録、作業機械点検簿、車両運転記録簿、遊具点検記録簿、防火点検記録簿、苦情等情報シート、ヒヤリハット事例集、月報、四半期報告書、年報、現金出納帳ほか法令点検記録</p> <p>▼ 指定管理期間の提案項目の履行状況を確認し、可能な限り実施するよう取り組んだ。</p> <p>▼ アンケートの実施結果は、休憩所に掲示した。</p>	<p>記録については適正に管理・保存・届出を行った。アンケート結果は誰でも閲覧できるように休憩所に設置するとともに、スタッフ間でも情報共有し、自己評価も踏まえて公園利用者が求めているものを管理運営に反映できた。</p>	<p>アンケートを取るだけではなく、結果の情報共有を確実にしていることを評価する。今後も適切に対応していただきたい。</p>

(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金835円(平成30年10月1日発効、発行前までは810円)以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。 ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出ている。 ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。 ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。 ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働局へ提出し、労働保険料を納付した。 ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。 ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。 ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 <p>▼ 安全衛生委員会を設置し、毎月1回、各公園・施設のマネージャーが出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、結果をスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。</p> <p>▼ 維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。</p> <p>▼ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。</p> <p>▼ 公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に結びつく取組みを行った。</p> <p>▼ 第三者への委託業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。</p> <p>▼ 女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けた。</p>	<p>指定管理施設の現場と本部事務局との連絡調整を密にするとともに、関係機関への必要な届出を迅速かつ確実にを行うなど、労働関係法令を遵守し、すべての関係手続きについて適切に対応できた。</p> <p>当団体での労働災害発生ゼロを目指して、毎朝のKY活動、ヒヤリハット事例の共有、安全大会の開催、安全講習の実施等に取り組んだ。事故が発生した際には、安全衛生委員会において、原因検証と再発防止の検討を実施した。</p> <p>安全な職場環境の実現と、スタッフの雇用環境の向上を進めるなかで、市民サービスの向上につなげることができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="background-color: yellow;"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>迅速かつ適切に対応していたと評価する。また、安全のためにも適切な取り組みをしており、その成果が出ていたと評価する。</p>	A	B	C	D				
	A		B	C	D						

<p>(3) 施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 利用者の安全対策として、作業時にセーフティコーンや作業看板を設置して作業を行うとともに、園内の利用状況に応じて作業時間を調整する等、危険な場所に利用者が入らないよう努めるとともに、園内での作業車両はハザード灯を点灯し、速度15km/h以下で走行した。 ▼ カラスの子育て時期には注意看板を設置し、園路に近い位置に巣があった場合には撤去した。スズメバチは安全を確保した上で適宜直営で駆除した。 ▼ 台風被害時には、公園を封鎖し、処理までに時間を要する場合は、ロープ柵設置や園内掲示板・インターネット上で告知・園内放送をすることで来園者に注意喚起し、安全管理に努めた。 ▼ 駐車場における車上荒らし被害防止のため、混雑時の巡回強化・警察へのパトロール要請・園内放送での貴重品注意喚起などの対策をとり、事件発生抑制を図った。 ▼ 保険については計画書通り、施設賠償責任保険、レクリエーション保険、家財保険、任意自動車保険、食品営業賠償保険に加入した。 ▼ パークゴルフ場での危険球での事故発生を受け、ネットの増設・注意喚起の園内放送を行った。 ▼ 利用者のニーズに応えるため、飲食の臨時売店や更衣用プレハブを設置し、市民サービス向上を図った。 ▼ 冬期は前田森林公園南側拡張区域駐車場の除雪を実施し、ながめの丘利用者への利便確保を図るとともに、自主事業実施会場変更の案内を掲示した。 ▼ 拾得物取扱いマニュアルを作成し、拾得物及び遺失物の情報を管理事務所内で共有し、遺失者・遺失物の早期発見に努めることでサービス向上を図った。 	<p>利用者の安全対策は計画書の通り実施し、その結果、園内作業に伴う来園者の事故はなかった。台風に伴う倒木によって塞がれた園路等は、公園利用を待ち望む市民のため、安全対策を図りつつ3日程度で樹林地内を除き開放できた。転倒などの事故が起きた場合は迅速に対応し、必要に応じて保険適用により対応することなど、日頃から万全に準備をしている。イベント等の団体公園利用については、申込時に園内の危険箇所や想定される事態について説明し、安全対策が図れるようアドバイスを行った。今年度は冬期イベント時に保険適用となる事故が1件発生したが、レクリエーション保険を適用した。この事故については当公園の管理瑕疵はなかった。市民サービス向上のため、回収したアンケートや利用者からの意見要望など、実行や改善可能な要望等に迅速に対応することにより、感謝の言葉を頂くことができ、公園の品質向上に繋がった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1241 152 1294 197">A</th> <th data-bbox="1294 152 1347 197">B</th> <th data-bbox="1347 152 1399 197">C</th> <th data-bbox="1399 152 1445 197">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1241 241 1445 566"> <p>第3者に対する安全対策は適切に実施されている。今後も安全に配慮した維持管理を行い、事故等を0にすること。また、利用者の意見を取り入れた対応をしていたことも評価する。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>第3者に対する安全対策は適切に実施されている。今後も安全に配慮した維持管理を行い、事故等を0にすること。また、利用者の意見を取り入れた対応をしていたことも評価する。</p>			
			A	B	C	D					
<p>第3者に対する安全対策は適切に実施されている。今後も安全に配慮した維持管理を行い、事故等を0にすること。また、利用者の意見を取り入れた対応をしていたことも評価する。</p>											

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 有料施設である野球場、球技場、テニスコート、パークゴルフ場は、仕様書の通り4月20日から11月20日まで営業し、定期整備を実施した。 ▼ 清掃作業については、概ね仕様書の水準を達成した。 ▼ カナールは春夏秋の年3回の清掃を行い、仕様書に沿った管理を達成できた。 ▼ 無料施設の開放は仕様書の通り実施した。 ▼ 公衆トイレは仕様書の通り開放した。 ▼ 食堂売店は仕様書の通り営業した。 ▼ 遊具他施設設備保守点検を仕様書の通り実施した。 ▼ 前田森林公園では、汚水ポンプ調整、壁泉修繕、園路不陸修繕、噴水池漏水修繕、厨房設備修繕、エレベータ設備修繕、自動ドア修繕、汚水ポンプ制御盤修繕、給水設備漏水修繕、壁泉給水管漏水修繕、管理事務所漏水修繕、山口緑地では、受水槽水位弁修繕、井水給水管修繕、仮設トイレ流水ポンプ修繕、地区公園では、星置公園水道口径変更修繕、側溝修繕など、施設利用に支障が出ないよう維持管理した。 ▼ 草刈は、芝生等の伸長状況を観察した刈込みにより、効率的な管理に取り組んだ。また、緩効性肥料と刈草による窒素循環を組み合わせた芝生管理により、効率化・低コスト化、環境配慮型の維持管理を図った。 ▼ 施設の点検等の業務は、必要に応じ専門業者へ委託して実施した。 ▼ 備品管理については、施設の鍵も含め3月に点検を実施した。また、作業機械類については、部品を購入して直営で修繕し、経費圧縮を図った。 <p>▽ 防災</p> <p>30年度の防災計画を策定するとともに、5月と11月に消防訓練を実施した。11月は「大規模地震の影響で火災が発生」と、災害の想定を広げた訓練を実施した。</p>	<p>有料施設であるパークゴルフ場のうち、前田森林コースは特に利用が多いことから、利用に支障のないよう営業終了後に散水作業を行い、サービスと維持管理の両立を図ることができた。カナールは水質やカモなどの水鳥の影響で藻が繁茂しやすくなっているため、清掃回数を年3回として対応した。カナール清掃についてはボランティアを募集して対応し、市民と交流を図りつつ公園維持管理作業を共有することができた。</p> <p>備品に関しては、随時台帳を整理した上で年1回の確認を行った。</p> <p>修繕に関しては、可能なものは直営で行い、専門的な修繕が必要な場合のみ専門業者に委託し、運営コストの削減を図ることができた。</p> <p>施設の修繕については、早期対応に努めることで施設利用への支障を最低限に抑えることができた。</p> <p>訓練を予定通り実施した。11月には災害の想定を広げ、複雑な初期対応など、通常よりも内容の濃い訓練を継続実施できた。</p>	<p>適切に対応していたと評価する。今後もより効率の高い管理を目指し、利用者のことも考えた維持管理に努めること。</p> <p>適切に対応していた。</p>
--	---	---	--

(4)事業の計画・実施業務	▽ 自然環境普及啓発に関する学習機会の提供業務		A B C D
	<p>①前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 札幌市立前田北小学校 <ul style="list-style-type: none"> ・園内で採取したカエルの卵を育てる環境教育を支援(3年生2学級44名) ▼ 札幌市立稲穂中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・作業を通した公園管理実習を支援(実習生15名) <p>②星置公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 札幌稲穂高等支援学校 <ul style="list-style-type: none"> ・花壇管理を通した環境教育を支援(実習生6名) <p>▽ 公園等施設利用に関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <p>①前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 前田森林公園凸凹クラブ <ul style="list-style-type: none"> ・トンカチ広場開催のための活動場所の提供(366名参加) ・自然観察会案内チラシの作成支援 ▼ FDS(競技団体) <ul style="list-style-type: none"> ・フライングディスクドック大会の運営に関する実施場所と資材提供などの支援(60名参加) ▼ 手稲プレーパークの会 <ul style="list-style-type: none"> ・プレーパークの活動場所の設定支援(318名参加) ▼ 手稲区特定郵便局 <ul style="list-style-type: none"> ・公園清掃活動運営支援とごみ袋の提供(100名参加) <p>②山口緑地パークゴルフ場東コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 手稲区パークゴルフ協会 <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ場にて協会会員同好会の交流大会を実施(111名参加) <p>④明日風公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 明日風フィオーレ <ul style="list-style-type: none"> ・花壇管理ボランティアへの資材の提供 	<p>例年受入れをしている北海道札幌高等養護学校の実習は、台風や地震の影響で学校側の調整ができず中止となったが、今年度も複数の教育機関と連携し、職員が補助に付き、必要な支援を行うことができた。</p> <p>市民活動に対しては、良好な関係を保つとともに、資材の提供や活動場所の提供など、多くの支援ができた。</p>	<p>教育機関と連携する等し、積極的に学習の場として公園を活用したことを評価する。</p> <p>各市民団体との調整を取り、適切な支援を行っていた。今後も地域との連携を大切に、支援を行うことに努めてほしい。</p>

(5)施設利用に関する業務

▽ 利用件数等

		H29実績	H30計画	H30実績
① 前田森林公園 野球場	件数(件)	243	-	250
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	18.8	-	18.3
① 前田森林公園 球技場	件数(件)	102	-	101
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	17.0	-	16.8
① 前田森林公園 パーク ゴルフ場	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	33,812	-	34,863
	稼働率(%)	-	-	-
② 山口緑地 パーク ゴルフ場 西コース	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	13,059	-	11,074
	稼働率(%)	-	-	-
② 山口緑地 パーク ゴルフ場 東コース	件数(件)	-	-	-
	人数(人)	32,198	-	29,492
	稼働率(%)	-	-	-
③ 星置公園 野球場	件数(件)	156	-	138
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	13.1	-	13.3
③ 星置公園 庭球場	件数(件)	232	-	240
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	9.5	-	10.3
④ 明日風 公園 庭球場	件数(件)	628	-	522
	人数(人)	-	-	-
	稼働率(%)	27.4	-	22.5

※稼働率は小数点第2位四捨五入

▽ 不承認 0件、取消し0件、減免 7,403件、還付44件

- ▼ 前田森林公園野球場 減免11件、還付16件
- ▼ 前田森林公園球技場 減免4件、還付2件
- ▼ 前田森林公園パークゴルフ場 減免3,369件
- ▼ 山口緑地西パークゴルフ場 減免1,268件
- ▼ 山口緑地東パークゴルフ場 減免2,727件
- ▼ 星置公園野球場 減免1件、還付11件
- ▼ 星置公園テニスコート 減免11件、還付5件
- ▼ 明日風公園テニスコート 減免12件、還付10件

パークゴルフ場の利用料金体系を是正したことにより、利用者数は若干減ったものの売上は順調に回復し、前年度より約672千円の増収となった。全体を見ると、台風及び地震によるブラックアウトの影響もあったが、早期に施設を開放し、被害を最小限に抑えることができた。その結果、今期の利用料金収入は目標の25,156千円を上回り26,318千円となった。有料施設の利用については、天候の影響を大きく受けるが、良いコンディションを維持することにより利用者離れを最小限に抑えることができた。

A	B	C	D
パークゴルフ場については、利用料金の変更により、利用者の人数は減っているが、人数減少の原因を考察することができているため、今後はさらなる利用者の獲得に力をいれてほしい。台風や地震があったが、迅速に適切な対応をし、収入も目標額を上回っている点については評価する。			

	<p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼ 公式ホームページやTwitterなどのメディアを利用した広報、園内掲示板への情報掲示のほか、近隣地域へのチラシ配布、電話や窓口受付の際に公園自主事業の案内を付け加えるなどの取組みを行うとともに、快適な利用環境の整備に努めた。</p> <p>▼ パークゴルフ場では、受付マニュアルの改訂を継続することにより、利便性や受付の一層の効率化を図った。</p> <p>▼ 市民団体とともに事業を開催し、公園利用の促進を図った。</p>	<p>野球場・テニスコート球技場などの有料施設は、空き状況の情報発信を積極的に行ったことや、利用者ヘラインカーや机・椅子等の資材を提供することで、利便性の向上に繋げることができた。</p> <p>市民団体との共催や協働事業、また自主事業により多くの市民参加があり、公園の利用促進ができた。(事業全体で7,552名参加)</p>	<p>ホームページ以外にもSNS等にメディアを活用することで、広い層に効果的な広報活動を行うことができていると評価する。引き続き、情報発信と場内管理に努め、利用者の獲得に努めていきたい。</p>								
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ インターネットを効果的に活用し、新鮮な情報発信に努めた。</p> <p>・公式ホームページ アクセス数は100,468件となり、前年度同様に10万件を突破した。更新回数は前年度より増加したが、ユニークユーザー自体は前年度比98.4%となった。</p> <p>・メールフォームの活用 公式ホームページ内のメールフォームから来る問合せに即時詳細に対応した。</p> <p>・Twitter 園内の自然情報、バーベキュー広場の混雑状況、イベント情報などを常に発信し、質問に都度返答するなど、公園への理解を深める活動を行った結果、記事の注目度を測るリツイートも1,200回を越えるものが1件、他も100~400件のリツイートを達成し、「いいね」も600人越えが出るなど、固定のファンが増加していることが伺えた。またフォロワー数が3,985人、閲覧数も5,852,351件となった。</p> <p>▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ取組確認・評価表を、平成31年3月15日に公開した。</p> <p>▼ 外部展示 JR手稲駅のフリースペース「あいくる」のショーウィンドウにて、冬季公園情報をパネル展示した。今年度は自然観察に役立つ情報も増やし、自然観察会の実施日程も掲示した結果、参加者増につながった。</p> <p>▼ チラシの配布 子ども向け自然観察・環境教育系のイベントなどについて、5月初旬、夏休み、冬休み前の計3回、近隣教育機関やまちづくりセンター、商店にチラシを配布した。 大型催事(ふじまつり)前に、催事情報とパークゴルフ場の紹介をメインとしたチラシ4,420枚を新聞折込にて配布した。</p>	<p>メールフォームや、Twitterでの質問等に迅速に対応し、公園利用時の不安を取り除き、気軽に来園できるよう取り組んだ結果、称賛をいただくとともに、今年度も公園のファンづくりに非常に役立つ、園内で実施しているアンケートにおいてSNS等のファンである旨が記入される頻度が増加した。</p> <p>特に今年度は、9月の台風及び地震の影響もあり、リアルタイムで情報提供ができるツールとして、質問への回答を含めてSNSが情報発信に活用できた。</p> <p>バーベキュー広場など問合せの多い施設については、ホームページに「よくある質問」を掲載し、内容を毎年見直し更新している。閲覧者のニーズにあった疑問解消に有効で、問合せ対応の軽減に繋がりが、広報活動の品質向上ができた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">インターネットを活用した質問に対する迅速な返答や情報提供が、新たな公園利用者の獲得に加え、リピーターの獲得につながったと評価できる。また、Twitterのフォロー数も増加しており、より多くの人たちへの情報発信源として活用されている。引き続き、効果的な広報活動に取り組み、公園のファンを獲得することに努めてほしい。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	インターネットを活用した質問に対する迅速な返答や情報提供が、新たな公園利用者の獲得に加え、リピーターの獲得につながったと評価できる。また、Twitterのフォロー数も増加しており、より多くの人たちへの情報発信源として活用されている。引き続き、効果的な広報活動に取り組み、公園のファンを獲得することに努めてほしい。			
A	B	C	D								
インターネットを活用した質問に対する迅速な返答や情報提供が、新たな公園利用者の獲得に加え、リピーターの獲得につながったと評価できる。また、Twitterのフォロー数も増加しており、より多くの人たちへの情報発信源として活用されている。引き続き、効果的な広報活動に取り組み、公園のファンを獲得することに努めてほしい。											

▼ プレスリリースの活用

定期的なプレスリリースを行い、イベントや季節の節目にニュースソースとして取り上げられる回数が安定して増加してきており、季節の情報として定期的に取り上げられるようになった。また、ロケーションの場所としても浸透し、地元テレビ局による活用のほか、アーティストのPV等にも活用された。

各種媒体への情報発信とともに、前田森林公園の美しい景観写真をインターネットに上げ続けることで公園の知名度がアップし、今年度も、リアルタイムの情報が全国区の報道番組で取り上げられた。また、ロケーションの場所としての認知度が高まり、地元タレント、国内アーティストのロケーションの場所として活用され、広報効果を十分に発揮でき、それを見たファンが日本各地から訪れるようになった。印刷物や展示物を積極的に地域に出していくことで、公園への理解と知名度が向上し、来園動機のない方にもアプローチでき、特に冬期利用者の獲得に繋がった。

▽ 引継ぎ業務

▼ 指定管理範囲の拡大に対応してコンソーシアム構成を一部変更(1者追加)したが、基本的には継続となるため、引継ぎ業務はない。

2 自主事業その他

▽ 自主事業		A B C D
<p>①前田森林公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 展望ラウンジ レストラン(委託) 収入206千円 ▼ パークゴルフ場 レストラン(委託) 収入122千円 ▼ 自動販売機(委託) 収入1,270千円 ▼ 売店事業(管理事務所) 収入364千円 ▼ 売店事業(臨時) 収入80千円 ▼ コインロッカー 収入38千円 ▼ 売店事業(バーベキュー) 収入618千円 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入256千円、利用者1,276人 ▼ 門松作り 収入20千円、参加者10人 ▼ リース作り 収入26千円、参加者13人 ▼ クロスカントリースキー初心者講習会 収入133千円 参加者75人 ▼ 歩くスキー簡単初心者講習会 収入34千円、参加者34人 ▼ 歩くスキー貸出 収入451千円、利用者2,130人 ▼ スノーラフティングボート 収入120千円、利用者239人 <p>②山口緑地西コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自動販売機(委託) 収入39千円 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入21千円、利用者104人 <p>②山口緑地東コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自動販売機(委託) 収入210千円 ▼ 売店事業(クラブハウス) 収入184千円 ▼ パークゴルフ交流大会 収入111千円、参加者111人 ▼ パークゴルフ貸しクラブ 収入71千円、利用者355人 <p>④明日風公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 自動販売機(委託) 収入231千円 ▼ リース教室 収入70千円、参加者28人 	<p>30年度の自主事業収入は、事務所売店120.5%、バーベキュー売店92.9%、東パークゴルフ場売店81.5%、クラブレンタル99.3%、講習会などのイベントは43%など全体で前年度に比べ実質売上が約560千円の減収となった。春夏の低温、地震後停電による施設閉鎖や管理経費圧縮のための事業縮小が主な原因となった。しかし、ラフティングは大幅な経費削減を実行し見かけ上、減収となっているが赤字から黒字へと転換した。また、管理事務所売店では新商品の取り扱いやふじまつりでの売店売上が過去最高となったこと、スキーレンタルでは利用者サービス向上のため備品更新を行い前年度比115.8%と好調な収益増が実現でき、実質収入を10.9%の減収に留めることができた。</p>	<p>昨年と比較して収入は減少しているが、原因の考察がしっかりできており、適切な対応がされていた。</p>
<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 第三者への委託業務は、市内企業に発注した。 ▼ 物品調達の際は、市内企業から購入した。 ▼ 札幌稲穂高等支援学校、札幌市立稲陵中学校からの実習生を受け入れた。 ▼ 高齢者福祉施設の公園利用の際に、展望ラウンジ裏駐車場を開放した。また、体の不自由な方へは管理事務所駐車場をご利用いただき、車いすを貸し出した。また、管理事務所にスタッフ用の手話の資料を配置して対応した。 	<p>委託業務及び資材の調達は市の方針のとおり市内の企業を選定発注することができた。福祉の取組みとして、高等支援学校の授業協力を行った。また、身体の不自由な方への公園利用や案内についても適切に対応できた。</p>	<p>市内企業を活用していた点と、養護学校に加え、稲陵中学校とも連携していた点は評価できる。また、身体の不自由な方への公園利用や案内についても適切に対応できていた。今後も福祉の取り組みを続けていってほしい。</p>

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

		A	B	C	D
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートボックスの設置 ・イベント参加者を対象としたアンケート 	<p>前年度同様、アンケートボックスの複数設置によりサンプル数の確保に努め、多くのご意見を頂くことができました。公園の総合満足度、スタッフの接客満足度共に札幌市の要求水準を上回り、当コンソーシアム目標値も達成しました。接客に関する満足度については、前年度を上回ることができました。寄せられた意見・要望では、犬に関する苦情が例年どおり多かったが、直接の苦情につながるものは少なくなっており、園内放送の活用や声かけが功を奏した。来園者の要望により設置したプレハブの更衣室は、今年度も多くの利用者から好評を得ることができ、アンケート内に謝意の言葉を多く頂くことができました。また、清掃や草刈りなど園内管理への称賛もアンケートで多数記載があり、満足度の数値が裏付けられた。四半期ごとにコメントを付したアンケート結果を休憩所に掲示しているが、今年度も閲覧した利用者からコメントについてもお褒めいただいた。以上のことから、アンケートを基に公園維持管理運営の品質向上ができた。</p>			<p>利用者の声に耳を傾け、意見を取り入れるための工夫がされており、満足度も水準を上回っている。様々な苦情要望に対し、適切な対応をしていると評価する。</p>
結果概要	<p>上記アンケートの集計結果(回答者147人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 公園の総合満足度:78.5% (札幌市の要求水準70%・当園目標75%を達成した) ▼ スタッフの接客に関する満足度:89.1% (札幌市の要求水準80%・当園目標85%を達成するとともに前年度を上回った) ▼ 回答者属性 8割が札幌市内在住で、男女比は半々、65歳以上が36.75%と最も多く、10歳未満から60～64歳の間の各年齢層は、ほぼ均等となった。 ▼ 公園利用頻度 月1～2回以上が27.2%と最も多く、初めての利用は15.6%となり、リピーターの意見が大半を占めた。 ▼ 情報を得る手段 友人・知人からの情報が27.2%と最も多く、次いでその他(主な理由は近隣在住のため)26.5%、広報さっぽろ19.0%となった。テレビや紙媒体などが合わせて13.6%と昨年度より減少した一方、ネット関係が23.1%となり、昨年度よりアップした。 				
利用者からの意見・要望とその対応	<p>【称賛】 公園について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良く整備されている。 ・いつ来ても気持ちの良い場所。 ・きれいで安心して利用出来る。等 <p>スタッフについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても親切に対応してくれる。 ・笑顔で対応してくれる。 ・感じがよく、優しいので質問しやすい。 <p>【対応】 ご来園の方に心地よく過ごして頂けるように管理運営を継続していく。</p> <p>【要望】 樹木の銘板が少ないので立ててほしい。</p> <p>【対応】 市民団体の活動により樹名板を更新しているが、園内全ての樹木への銘板掲示は難しいため、設置希望樹種とその場所を調べて対応したい。</p> <p>【要望】 遊具がほしい。</p> <p>【対応】 若い親子連れの来園者が増えたためか、遊具設置の要望が増加してきている。近隣の遊具が多い公園をご紹介したり、新たな遊具の設置は難しいことを説明し、ご理解頂けるよう努めていきたい。</p> <p>【要望】 コンサート、夏祭りなどのイベントをもっとしてほしい。</p> <p>【対応】 既存のイベントをご存じない方もいらっしゃるのでは案内に努めるほか、外部団体のイベント等があれば受け入れていく体制を整えることで対応したい。</p>				

【苦情～犬に関して】
 ・犬の出入りを禁止してください。
 ・犬のフンをどうにかしてください。
 ・犬の散歩はマナーが悪い人が多いので禁止にしてほしい。

【対応】
 巡回時の清掃でフンの回収を継続したほか、園内にマナー啓発の看板を掲示し、園内放送などでの呼びかけも行っている。

【苦情】
 公園外周の歩道、車道も利用していますが雑草、ゴミ投棄、他全体的に汚くてガッカリしています。同じ札幌市の管轄下じゃないんですか？よろしくお願いたします。

【対応】
 企業のボランティア清掃時に清掃して頂いたり、職員によるゴミ回収も行っているが、不法投棄の量が多いため、大型の物の場合は手稲警察署や所管局に連絡し、対応頂いている。

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	H30年度計画	H30年度決算	差(決算-計画)
収入	122,224	132,492	10,268
指定管理業務収入	118,599	126,104	7,505
指定管理費	93,443	99,786	6,343
利用料金	25,156	26,318	1,162
その他	0	0	0
自主事業収入	3,625	6,388	2,763
支出	122,224	133,375	11,151
指定管理業務支出	121,258	128,846	7,588
自主事業支出	966	4,529	3,563
収入-支出	0	▲ 883	▲ 883
利益還元	0	0	0
法人税等	0	243	243
純利益	0	▲ 1,126	▲ 1,126

▽ 説明

▼ 利用料金収入は、低温や地震、台風などの災害の影響があったが、目標を達成し、計画より増収となった。

▼ 自主事業収入は、5月6月の低温を伴う天候不良により自動販売機やBBQ用品等の売上が伸びず、全体で前年度に比べ実質売上げ560千円の減収となった。決算では前年度より205千円の増収となり、30年度計画に対しては2,763千円の増収となった。

▼ 自主事業支出は、備品修繕のための消耗品購入や備品更新、商品仕入れ、振替支出が嵩んだ結果、支出増となった。

▼ 指定管理業務支出は、消耗品購入や燃料の高騰、また、修繕不可となった作業機械の更新、委託費用増加の影響もあり、その他の経費削減に努めたが、結果として計画より7,588千円の増となった。

▼ 以上の事から、収支は差引き▲1,126千円の差額が生じた。

自主事業収入は、天候不順による利用者減少の影響があり、委託販売や自動販売機売上が低迷した。また、スキー貸出備品の更新を継続するとともに、上位レベルスキーを導入したことにより、貸出し売上は前年比108.5%となった。

パークゴルフ場は、今年度も賃金や資材購入費等の管理経費が嵩んだが、コース管理を高いレベルで維持した結果、利用者的好评で、前年度に引き続き増収となった。特に森林コースが前年度に引き続き、山口緑地両コースの減収分を上回る結果となった。全体の利用料金収入については、悪天候や災害の影響もあったが、前年度売上から508千円増収となり、継続的な増収を図れたことを評価する。

A B C D
 収入に関しては、減収した部分を他の増収で補うことができている。計画を大きく上回っている。支出については、自主事業や維持管理に必要な支出があったため、計画より多くなっているが、経費削減や公園利用者のことを考えながら対応することができていたと評価する。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

<p>▽ 安定経営能力の維持</p> <p>▼ 当コンソーシアムの代表団体である札幌市公園緑化協会の財務状況等は、平成30年度、赤字決算になる見込みはなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能力に問題はない。また、他の構成企業についても前年度から大きな変化はなく、新規に加わった1社を含め、安定経営能力に問題はない。</p>		<p>適 不適</p>
<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。</p> <p>▼ 情報公開請求はなかった。</p> <p>▼ 当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。</p> <p>▼ 公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。</p> <p>▼ 物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。</p>		<p>適 不適</p>

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>利用料金収入は、計画より1,162千円の増収となった。山口緑地の収入が減収となる中で、前田森林公園PG場の利用料金が前年度に比べ1,170千円の大幅な増収となり、山口緑地PG場東と並んで安定経営の礎となっている。</p> <p>自主事業は、指定管理費の収支改善を図るため、管理費の効果的な運用による備品更新、効果的な広報活動、効率的な事業運営を実施したが、台風及び地震後の閉園・施設閉鎖や不安定な天候もあり自動販売機の売上が低迷し目標を達成しなかった。しかし、備品更新を行った冬期事業については売上増、委託売店は前年度並みとなり、公園利用者と直接対応するものについては大きな減収とはならなかった。</p> <p>前田森林公園凸凹クラブ、明日風フィオーレ、手稲プレーパークの会、手稲区パークゴルフ協会など、市民協働の取組みは継続して実施できた。今年度から新たに前田森林公園クリーンボランティアとして参加者を募り、ボランティア活動が行われる運びとなった。市民団体へは、継続的な活動の支援、良好な関係を維持できたことを評価する。</p>	<p>利用料金収入について、次年度も増収を図るためパークゴルフ場芝生のコンディション維持に努めるとともに、野球場やテニスコートにおいても備品の更新や施設修繕などの施設利用に係る品質向上、また、広報活動による集客が図れるよう努めたい。</p> <p>次年度も自主事業の実施内容や運営費等を総合的に精査判断し、増収を図りたい。</p> <p>今後も地域住民との良好な関係を維持し、更なる発展を実現できるよう努めたい。</p>

<p>園地管理では、雪割や融雪剤散布等を実施し、計画に沿ったオープン準備ができた。今年度は草刈の頻度や区域の見直しにより、野鳥営巣地の保護など自然環境の保全を図るとともに、全体として良好な景観の維持管理に努め、アンケートにより、緑地管理に対する称賛や励ましの言葉を多くいただいた。</p> <p>樹木については、今年度も日陰などの問題があった民有地沿いの樹木の間伐やポプラ並木の整枝剪定、つどいの森の梅の剪定、フジの剪定等を実施し、景観の維持向上を図ることができた。また、台風後に倒木で利用不能となった園路や駐車場を3日程度で開放できたことを評価する。</p>	<p>樹林地下草管理では、野鳥の営巣地となっている区域が多いため、引き続き草刈り管理計画の実施回数を減らすなど計画を見直し、野生動物に影響が出ないように努めると同時に、整備された印象を失わないよう維持管理に努めたい。</p>
--	--

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>パークゴルフ場の利用料金見直しにより、利用者は減ったが、収入は増えているため、効率的な管理運営に努めていたと評価する。今後も効果的な広報活動により、さらなる利用者獲得と、満足度の向上に努めて</p>	<p>上記の所管局評価を参照してください。</p>